【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和4年12月16日(2022.12.16)

【国際公開番号】WO2021/205647
【出願番号】特願2022-513831(P2022-513831)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｓ　7/481(2006.01)
Ｇ０１Ｓ　7/497(2006.01)
Ｇ０２Ｂ 26/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｓ　7/481　　Ｚ
Ｇ０１Ｓ　7/497
Ｇ０２Ｂ 26/10　１０４Ｚ
Ｇ０２Ｂ 26/10　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月29日(2022.9.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レーザ光を反射する２次元ＭＥＭＳ（Micro Electro Mechanical System)ミラーを備えた走査型の距離測定装置であって、
前記２次元ＭＥＭＳミラーの互いに直交する２軸のうち画角を制御する軸において、駆動信号で前記２次元ＭＥＭＳミラーの前記軸を駆動する駆動手段と、
前記駆動信号の駆動波形をオフセット量だけオフセットして前記レーザ光の走査角度範囲の中心角度をシフトする際、前記中心角度からのシフト方向に応じた前記オフセット量に基づき、前記走査角度範囲を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする、距離測定装置。
【請求項２】
前記制御手段は、シフト方向に応じた、シフト前とシフト後の前記中心角度の角度差に対するオフセット補正量を格納したテーブルを参照して、前記オフセット補正量に基づいて前記オフセット量を決定することを特徴とする、請求項１に記載の距離測定装置。
【請求項３】
前記制御手段は、シフト方向に応じたシフト角度に対するオフセット量を格納したテーブルを参照して、前記オフセット量を決定することを特徴とする、請求項１に記載の距離測定装置。
【請求項４】
前記駆動信号の駆動波形は、非共振駆動波形であり、
前記制御手段は、前記レーザ光の発光終了後の前記駆動信号の前記非共振駆動波形の折り返しから前記レーザ光の発光開始前まで間の折り返し区間で、前記オフセット量を変更して前記走査角度範囲を制御することを特徴とする、請求項１乃至３のいずれか１項に記載の距離測定装置。
【請求項５】
前記駆動信号に基づいて、前記２次元ＭＥＭＳミラーを前記軸に沿って駆動して変位させ、前記レーザ光による走査の画角を制御する圧電素子をさらに備えることを特徴とする

、請求項１乃至４のいずれか１項に記載の距離測定装置。
【請求項６】
レーザ光を反射する２次元ＭＥＭＳ（Micro Electro Mechanical System)ミラーの画角を制御する画角制御方法であって、
前記２次元ＭＥＭＳミラーの互いに直交する２軸のうち前記画角を制御する軸において、駆動信号で前記２次元ＭＥＭＳミラーの前記軸を駆動する時に、前記駆動信号の駆動波形をオフセット量だけオフセットして前記レーザ光の走査角度範囲の中心角度をシフトして画角を動的に制御する際、プロセッサが、前記中心角度からのシフト方向に応じた前記オフセット量に基づき前記走査角度範囲を制御する、
処理を実行することを特徴とする、画角制御方法。
【請求項７】
コンピュータに、レーザ光を反射する２次元ＭＥＭＳ（Micro Electro Mechanical System)ミラーの画角を制御させるプログラムであって、
前記２次元ＭＥＭＳミラーの互いに直交する２軸のうち前記画角を制御する軸において、駆動信号で前記２次元ＭＥＭＳミラーの前記軸を駆動する時に、前記駆動信号の駆動波形をオフセット量だけオフセットして前記レーザ光の走査角度範囲の中心角度をシフトして画角を動的に制御する際、前記中心角度からのシフト方向に応じた前記オフセット量に基づき前記走査角度範囲を制御する、
処理を前記コンピュータに実行させるためのプログラム。